

令和5年
4月9日執行

岡山県議会議員選挙公報(岡山市北区・加賀郡選挙区)

岡山県選挙
管理委員会

からだ 身体健やかに! 心晴やかに! 笑顔爽やかに!
動き暮らせる岡山県の実現を目指します!

若者の貧困、少子化、労働力不足が大きな政治課題となっているところ、燃料費高騰と物価高が家庭を直撃。不信と分断の連鎖は加速し、できた溝はさらに深まっている。これは政治スタイル【型】に問題がある。今の政治のスタイル【型】は、日本の高度経済成長期と変わらない成長や人口増を前提とした昭和の【型】である。今こそ賢者になって令和時代のスタイル【型】にするべきである。

スタイル【型】を変えれば痛みを伴うし、急激であれば激痛となる。明確な方針を示して、緩やかに変えて行くべきである。県当局には重要度の見直しを行い、新しいことに取り組むことができるよう提案していく。稀代の映画俳優ブルース・リーは、“Be Water, My Friend”…水は形を変化させ流れることも石を砕くこともできると言った。今、政治がスタイル【型】を変化させ新しい未来に向かって実行する時である。

誰もが自分らしくステキに働き暮らせる岡山県をつくりまします。太田 正孝

良質な 魅力ある 暮らしやすい

令和の「医」「職」「住」の充実へ!

その中でも特に 子育て支援、県土強靱化(河川改修等)、幹線道路整備の推進、産業団地の整備、DXの推進、県立高校の充実、私学の支援、スポーツ環境の拡充を中心に取り組んでいます。

プロフィール
1964年8月4日生まれ 58歳 岡山市北区庭瀬在住。吉備小学校、吉備中学校、岡山大安寺高校を経て、慶応義塾大学理工学部機械工学科卒業。ヤマハ発動機社員時代に、電動アシスト付自転車の開発に従事。1995年～岡山市議会議員(連続3期当選) 2007年～岡山県議会議員(連続4期当選) 2022年～岡山県議会副議長

公式ホームページ <http://otamastaka.jp/>



おた
太田まさたか
58歳 自民党公認

誰もが普通に暮らせる社会に

私のお約束：税金の使い方は暮らし第一に

- ◆子育て・教育 3つの応援
 - ・18歳まで医療費は無料に
 - ・小中学校の給食費無償に
 - ・高校生のタブレットに公費助成を
- ◆若者・女性に希望を
 - ・正規雇用の拡大、中小企業支援で、最低賃金・時給1500円
 - ・給付型奨学金を充実、返済を支援
 - ・学校トイレに生理用品の常備を
- ◆地域の経済を元気に
 - ・中小企業・農林漁業、地場産業の振興
 - ・住宅・商店リフォーム助成制度の創設
- ◆暮らしに3つの安心を
 - ・国保料の引き下げ
 - ・消費税5%減税、インボイス中止
 - ・地域の公共交通の充実
- ◆高齢者に安心を
 - ・介護保険料・利用料など、介護の負担軽減
 - ・補聴器購入に補助
- ◆防災対策の強化
- ◆気候危機打開の対策強化
- ◆コロナ対策に万全を

共産党は県民と二人三脚、積極提案で政治を動かす
コロナ対策で県に14回100項目以上の申し入れ。医療機関への補助拡充、県立大学の授業料の減免、個人事業主への補助などが実現。2018年の西日本豪雨災害の際、8回政府要請を行ない、公費負担で被災家屋、ガレキ土砂の撤去などが実現。大規模太陽光発電の規制条例の制定。私学助成の拡充を求め前進。

いまこそ平和、暮らし 岸田政権の大軍拡、増税ストップ!

「専守防衛」を投げ捨て、米国が始めた戦争に自衛隊と一緒にたたかえば、相手国の報復攻撃を招き、日本に戦火を呼び込むことに。共産党は党をつくって101年、平和を貫きました。憲法9条を生かした平和外交で平和なアジアをつくりまします。

学生時代の障がい者運動が原点、再び県議会へ
障がい者運動に関わって40余年、「障がい者が普通に暮らせる社会こそ、誰もが普通に暮らせる社会」私の変わらぬ信念です。岸田政権が大軍拡、増税をすすめる。社会保障切り捨ての攻撃を強めているだけに、安心して暮らせる県政をめざすことが、できる決意です。コロナ禍で大変な時、多くの要望を直接届けたいと思っています。悔しい思いをしませんでした。再び、県議会で働き県民の願い実現にがんばります。

【略歴】1962年奈良県生まれ/岡山理科大学卒業/岡山大学大学院理学研究科了、同自然科学研究科(博士課程)単位取得/学生時代から障がい者の生活と権利を守る運動や環境問題で活動/2003年～19年県議会議員(4期)/党県副委員長、県自治体問題研究所副理事長/家族：妻、長男、次女一匹、別居で娘夫婦、孫二人



もり
森脇ひさき
日本共産党

一人のために! 岡山県のために!

「安全・安心な岡山へ」推進しました!

- 防災対策・防犯対策
 - ★県管理河川の防災対策(水位計増設・計画の策定(質問時H25年77か所▷R3年185か所)水位計108か所増設)
 - ★旭川ダムの事前放流(降雨予測等条件下)を推進
 - ★洪水浸水想定区域を拡大
 - ★県防災情報サイト
 - 「おかやま防災ポータル」機能の拡充
 - ★「岡山県消防防災ヘリコプター きび」導入推進(東日本大震災、西日本豪雨災害では倉敷市真備町でも活動)ドクターヘリとしても活動します
- 保健福祉・子育て支援・教育
 - ★#8000番「小児救急医療電話相談事業」導入・拡充
 - ★待機児童解消「保育士修学資金貸付事業」を創設
 - ★県HPに、介護保険施設の空き情報等(市町村一覧)を掲載
 - ★医療的ケア児支援センターの設置推進
 - ★県立高に「車イスが必要な生徒のためエレベーター」設置(質問時1校)R4年6校エレベーター設置5校 拡大!(大安寺中等、総社南、岡山操山中高、倉敷天城中高、R4津山中高)
- 新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰 対策・企業支援
 - ★県営ワクチン接種会場の設置
 - ★無料(抗原定性)PCR検査事業の実施
 - ★自宅療養者へパルスオキシメーター貸与・往診を推進
 - ★「後遺症対策」を推進(受診体制などHP掲載)
 - ★県立・私立学校の電気料金や給食費の補助
- 仕事・行革
 - 若者就職支援センター設置・拡充(就職氷河期世代支援も実施)
 - 決算(委)「前年度指摘事項取組報告書」提出義務化
- 地域の課題
 - ★交通安全施設(信号機、横断歩道など)設置
 - ★河川浸漬(牟佐、建部、吉備中央町 他)、護岸改修(粟井、足守、今保 他)
 - ★道路整備・拡幅工事(北区粟井の総社三和線、吉備中央町尾原の高梁旭線 他)

ますかわ英一プロフィール

略歴
昭和37年 岡山市生まれ
神奈川大(工)/関西高(普)/岡南小/聖園幼 卒業
昭和61年 (株)富士通デジタルテクノロジ 入社
平成元年 (有)マズデン 入社、代表取締役を経て
平成11年 岡山市議会議員 初当選(1期)
平成15年 岡山県議会議員 初当選(一現5期)

役職
公明党 岡山県本部 代表代行
県議会/安全・安心の岡山づくり推進議員連盟 副会長
がん対策推進岡山県議会議員連盟 副会長
岡山湯郷Belle県議会サポーターズ 副会長 等
元 岡山県監査委員/元 県議会決算特別委員会 委員長等

ますかわ英一ウェブサイト [ますかわ英一Twitter](#)



公明党公認
ますかわ英一

暮らしの中の切実な声は、政治に届いているでしょうか。時代が変化し、多様化する中で、県政の課題は山積しています。現場の声に根ざした政治を実現するため、「高原としひこ」は、皆様とともに考え行動してまいります。

県政に やさしさと活力を

- 安心して暮らせる社会を
物価対策をはじめ、感染症対策、地域防力の強化、高齢者・障がい者に対する支援、地域公共交通の充実を図ります。
- いきいきと働き続けるために
適正で均等な待遇の実現、切れ目のない雇用・ハラスメントのない社会環境の整備、中小企業への積極的な支援を進めます。
- 公共サービスの充実を
地方の権限・財源の充実確保、公共サービスを担うNPO等の多様な主体が活動しやすい環境づくりを進めます。
- 子どもたちに安心・安全を
少人数学級の実現、「子どもの貧困」対策、子育て世代への支援拡充、インクルーシブ教育の推進を図ります。
- 自然と共生し環境を守る
脱炭素・資源循環型社会の実現、農林水産業の保全、「地産地消」「食育」を推進します。
- より身近な議会へ
開かれた議会をめざし、「一票の格差」縮小、不断の議会改革に取り組みます。

■高原俊彦(たかはら としひこ)プロフィール

【生年月日】1962年12月12日生まれ(現在60歳) 【学歴】市立御野小学校入学、市立津島小学校、市立京山中学校、県立岡山朝日高等学校、中央大学法学部卒業 【職歴】1986年岡山県入庁後、税務・商工労働・福祉関係職場を経て2006年7月退職。2007年4月岡山県議会議員初当選(現在4期) 【現在】岡山県議会「民主・県民クラブ」団長、立憲民主党岡山県総支部連合会副代表 ほか



たかはら
高原としひこ
立憲民主党

令和5年4月9日(日) 岡山県議会議員選挙投票日

- 投票時間
- ・岡山市(一部の地域を除く。)・倉敷市・早島町
午前7時から午後8時まで
 - ・上記以外の市町村(瀬戸内市の一部の地域を除く。)
午前7時から午後6時まで
- (一部の地域では投票時間が異なりますので、投票所入場券等でご確認ください。)
- 岡山県選挙管理委員会

「世のため 人のために尽くす」という初心を忘れず
県議28年の経験と知恵を
活かして、県政に全力で取り組みます

- 安全・安心な県土づくり
 - 河川の改修・堤防強化
土砂、雑木を撤去する浚渫工事
 - 旭川ダムの安全点検
 - 自然を破壊する
大規模太陽光発電建設の阻止
- 中山間地域の振興
 - 農業の振興
 - 移住・定住の促進
 - 県道の整備
 - 伝統文化の継承
- 教育の再生
 - 「教育県おかやま」の復活



自由民主党 公認
いづもと
いづもと 勉

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

(両面をご覧ください。)

令和5年
4月9日執行

岡山県議会議員選挙公報(岡山市北区・加賀郡選挙区)

岡山県選挙
管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

(両面をご覧ください。)



はたようじ

愛と情熱の 県政を!

「ハタと困ったら
『はた』に頼め。
「用事があつたら
『ようじ』に頼め。」



自民党公認 岡山県議会議員候補
はたようじプロフィール・経歴

昭和18年9月 島根県隠岐郡海士町生まれ。
昭和37年4月 岡山大学教育学部入学。
昭和41年4月 新見市立明新小学校教諭
昭和43年4月 岡山市立立野小学校教諭
昭和49年4月 岡山市立芳田小学校教諭
昭和53年4月 岡山県立岡山工業高等学校教諭
昭和63年4月 岡山県立立山小学校教諭退職
平成14年3月 岡山県議会議員 初当選
平成15年4月 岡山県議会議員 再選
平成30年5月 第69代岡山県議会副議長に選任
令和2年5月 第71代岡山県議会議員に選任

教育、福祉、暮らしの安全・安心 行政への強力なパイプ役になります!

- 1 命を守り、健康に生きる社会**
人が生まれ、人が育ち、人がつながり、人が輝く社会を構築します。
- 2 二度と災害を起こさない安全安心な県土づくり**
岡山県所轄の河川の整備、土砂災害防止の急傾斜対策・砂防堰堤などの安全な環境整備は県行政の責務。災害に強い岡山県をつくります。
- 3 子どもたちの健全な教育実践**
夢や希望を持たせる教育、道徳教育・武道教育の推進、家庭や社会教育の実践と連携という重大な課題に取り組みます。



はちやひろみ

無所属

大人も子どももおかやま県。

皆様には、いつもお世話になっております。深く感謝しております。これからも、男性も女性も、大人も子どもも、みんなが主役のダイバーシティ社会の実現を目指し、雇用の均等・子育て支援、教育現場の安全確保に取り組み続けます。小さな声を正しい声をはちやひろみにお届けください。

私の公約
1

事前防災おかやま県

防災への導入・防災基本条例の制定・事前防災計画「タイムライン」の導入に力を尽くしましたが、今度「タイムライン」を進化させ、「備える」ことの重要性を皆様と共有しながら、新たに、河川の安全確保のための流域治水にも取り組みます。

私の公約
2

成長戦略おかやま県

成長戦略を立て、「地域・中小企業・医療・環境・農業・防災・アライアンス・M&A・事業革新」等をキーワードにしたおかやま県版の地方成長モデルの誕生を目指します。

私の公約
3

議員定数の削減・政治活動の透明化

議員定数を削減し、政務活動費取支報告書・視察報告書のホームページ上での公開などを実現し、「県政を見る化」することを訴え続けます。

ひたむきに、ていねいに。



福田つかさ

自民党公認 候補者

女性で看護師!!! 県民の"生きる"を支える5つの政策

- 1 「人生100年時代」に対応する保健・医療・福祉・介護の実現**
①住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしく生きていくことができるよう、地域包括ケアを促進します。②障害や認知症を抱えていても住み慣れた地域で生活できる仕組みづくりを推進します。③健康寿命を延ばし、社会で元気に活躍できる、生きがい溢れる岡山県を目指します。④新型コロナウイルス感染症対策の推進と、あらゆる新興感染症への対策強化に努めます。
- 2 子育て支援**
①安心して産み育てることができる環境を整え、働きながらの子育てをサポートする体制を促進します。②いじめや児童虐待などから子どもたちを守る事業を推進します。③教育・保護者の就労・生活・経済的支援など子どもを取り巻く課題への支援を強化し、社会全体で支える仕組みづくり、子ども食堂を含めた貧困対策を推進します。
- 3 地方創生を岡山から発信する**
①女性や若い世代が地域で生き活きと仕事するための雇用創出を促進します。②所得が確保される中山間地域の農業振興と担い手の育成を促進します。③岡山のものづくり産業を支援し、地域の人々の活性化を目指します。④eスポーツなどコンテンツを活用した産業振興への取り組みを推進します。
- 4 次世代を担う青少年の教育**
①少子高齢化社会の中での生きた教育の実現、心身が健全に発達できる学校教育と家庭教育を推進します。②児童・生徒が安心して学べ、確かな学力を育む教育環境の整備を推進します。③性教育・健康教育を推進し、未来ある子どもたちの心身育成に努めます。
- 5 安心・安全で、心豊かに暮らせるまち作り**
①地域で、子供から高齢者まで住民を支える仕組みは大切です。自助・共助・公助の連携を推進します。②命・財産を守る防犯、防災・減災に関する行政機能の強化と地域防災力の向上を図ります。③交通安全対策を強化し、事故ゼロに向けての取り組みを推進します。

プロフィール 【生年月日】昭和47年1月15日生まれ 【県議会】令和4年5月～防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会 委員長/令和3年5月～決算特別委員会 副委員長/令和2年5月～環境文化保健福祉委員会 副委員長/平成31年4月 岡山県議会議員1期目[岡山市北区・加賀郡(吉備中央町)選挙区] 【職歴】平成30年3月 衆議院議員秘書/平成29年8月 社会医療法人緑社会 金田病院勤務/平成2年4月 特定医療法人和風会 中島病院勤務 【学歴】放送大学卒業/津山看護専門学校卒業/岡山県立津山東高等学校卒業/美咲町立柵原中学校卒業 【その他】自由民主党岡山県岡山市北区・加賀郡第二支部 支部長/自由民主党岡山県支部連合会女性局長/岡山県看護連盟 副会長/岡山県障害者施策推進協議会/作州にAEDを広める会/NPO救命おかやま/保護司 【免許】看護師/救急救命士 【尊敬する人】ナイチンゲール 【趣味】宝塚歌劇団鑑賞/神社仏閣巡り



おおつか あい

小さな声を大切に
つながる居場所
食とエネルギーの自給
多様性の尊重

プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保養受け入れなどを行う。2014年ドイツのシェーナウ市から名誉賞。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

私は岡山で育ち、その後福島県で、大工と自給的農業をして暮らしていました。2011年の原発事故により、自分の手で築いた暮らしを失い、避難して戻った岡山で、「自分に出来ること」をがんばってきました。大きな決断の後、県議会議員として歩き出して6年。新型コロナやウクライナ侵攻は、暮らしを大きく揺るがし、気候変動による災害は、将来にわたる大きな転換を迫っています。予測のつかない時代でも、変わらず大切なことは、人がつながり、孤立をなくし、地に足をつけた力を培うこと。これからも小さな声、心の声に寄り添って、一歩一歩丁寧に歩いていきます。

誰 かにつながる、支えあえる安心を

子 どもの生きる力が育つ環境を

自 然を守り、元気がめぐる地域づくり

アニメ入りメッセージ動画はこちらをご覧ください

みどり岡山 検索

大塚愛事務所
〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721

令和5年4月9日(日) 岡山県議会議員選挙投票日



— 投票時間 —

岡山市(一部の地域を除く。)・倉敷市・早島町 : 午前7時から午後8時まで
上記以外の市町村(瀬戸内市の一部の地域を除く。): 午前7時から午後6時まで
(一部の地域では投票時間が異なりますので、投票所入場券等でご確認ください。)

岡山県選挙管理委員会